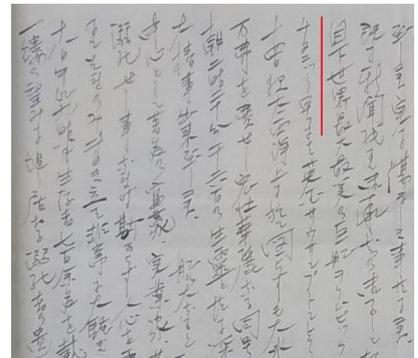
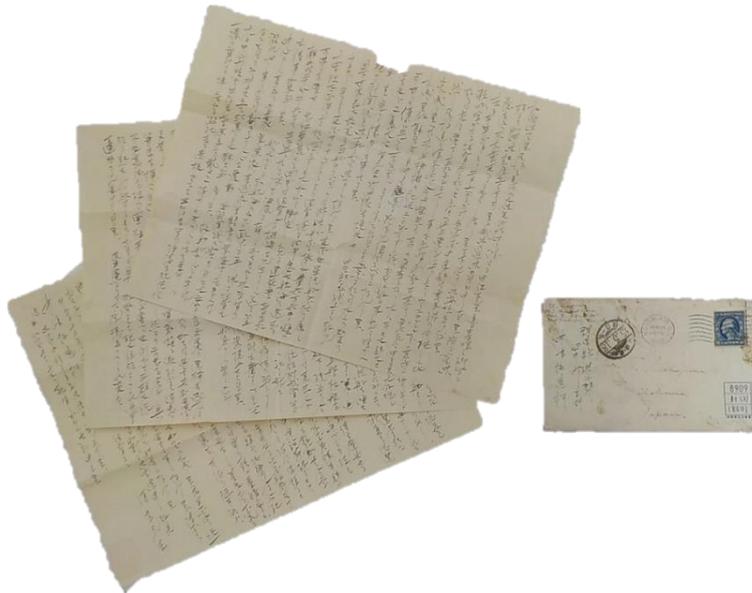


文書館だより

TEL027 (221)2346

URL <https://www.archives.pref.gunma.jp>

第68号 令和6年3月



新発見史料の紹介～タイタニック号沈没事故関連文書～

明治45年(1912)4月15日、イギリスのサウスンプトン発アメリカ合衆国ニューヨーク行きの大型客船タイタニック号が、北大西洋上で沈没する海難事故が発生しました。当時世界最大の客船であったタイタニック号は、前日の23時40分に冰山に衝突し、事故発生から2時間40分後の翌15日の2時20分に沈没、1514人が亡くなり、710人が生還しました。これは当時、世界の海難事故の最大死者数でした。昭和33年(1958)と平成9年(1997)にはこの出来事をテーマとした映画が公開されるなど世界的に関心の高い事故です。

今回は、閲覧公開に向けての目録作成中に発見されたタイタニック号沈没事故の関連文書を紹介します。発見された文書は、アメリカ合衆国ニューヨーク市に在留していた碓氷郡磯部村(現安中市磯部)出身の須藤元吉から同郷の中嶋拓造宛てに出された書簡で、事故の概要が詳述されています。

書簡の前半では、緊迫した事故発生時の状況、遭難者の生還に一縷の望みをかける関係者の様子、連日にわたり事故を報道する新聞、唯一の日本人遭難者である細野正文氏の生還など、事故当時の様子が鮮明に記されています。また書簡の後半では、1912年に実施されたアメリカ合衆国大統領選挙の様子なども記述されており、特に筆者の須藤元吉が後に選挙戦を制することになる民主党のウィルソンに注目している点も興味を引きます。またアメリカ合衆国における日露戦争後の日本への警戒(黄禍論)の高まりを示唆するような記述や、明治44年から翌明治45年にかけて発生した辛亥革命に関する記述も見られます。

当時、現地に在留していた日本人が入手した情報を即時に本県在住の知人に伝えた非常に貴重な史料であるとともに、20世紀初頭の世界情勢を知る上でも大変興味深い史料です。

「家康の関東入国と上野国～文書館収蔵中近世文書の世界～」の開催

昨年(令和5年)のNHK大河ドラマでは徳川家康が主人公として取り上げられました。これを機に全国各地で徳川家康や徳川家に関する展示会・イベントが行われ関心が高まっています。上野国(群馬県)も、天正18年(1590)の家康の関東入国に伴い、井伊直政、榊原康政、平岩親吉などの重臣が各地に配置されました。今回の展示では、当館が収蔵する徳川家康関連の史料を紹介するとともに、戦国時代から江戸時代初期の上野国(群馬県)の姿を振り返りました。展示会は多くの方に興味を持っていただき、8月5日(土)から11月26日(日)の会期中には同時開催したインターネット展示を含め、延べ1600人以上の方にご観覧いただきました。

群馬県立文書館 令和5年度テーマ展示1

家康の

関東入国と上野国

～文書館収蔵中近世文書の世界～

令和5年 8月5日(土)～11月26日(日)

インターネット展示でも観覧いただけます。(8時～20時)

群馬県立文書館HP 動画も観覧いただけます。

展示解説会(約30分)

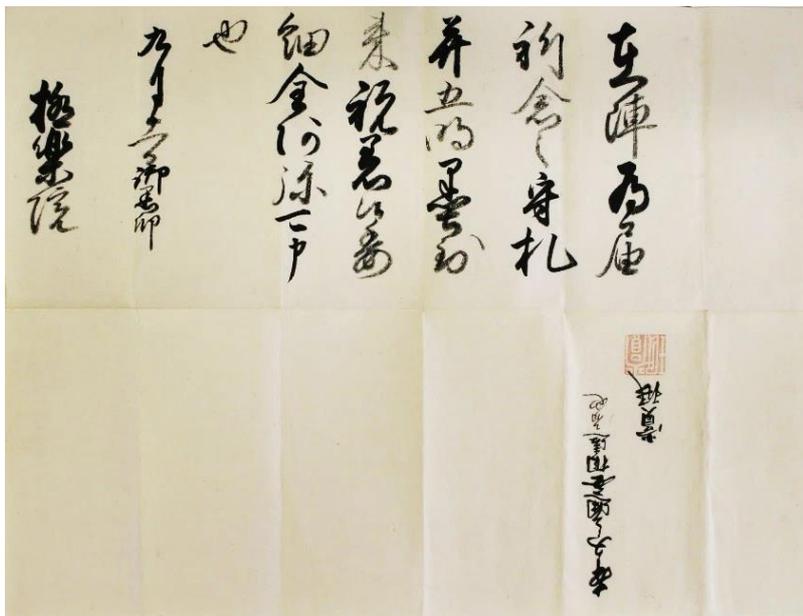
第1回	8月10日(木)	13時
第2回	9月9日(土)	13時
第3回	10月28日(土)	13時
第4回	11月11日(土)	13時

※5分前に、1階ロビーにお集まりください。

【収蔵先】三浦西方(法性院布陣図)、石陣図(P1706)徳川家文書 №370-161
 【収蔵先】榊原康政(榊原康政書状) (A9-164300 №164)、武田信玄(武田信玄書状) (P19805) 榊原家文書 №11

群馬県立文書館 【開館時間】 午前9時～午後5時(観覧無料)
 TEL:027-221-2346 【休館日】 月曜日、国民の休日、月末整理日、特別整理期間

展示史料紹介



展示No.11
 〔徳川家康黒印状写力〕
 慶長5年(1600)9月11日(P0603 15)

関ヶ原の戦いに際し、本山派修験(聖護院を本山とする修験道)の極楽院(現高崎市箕郷町和田山)が、戦勝を祈願した祈祷札とともに、五明(扇)と墨を家康に届けたことに対しての返礼状の写と思われます。

多くの戦国大名は合戦に際し、領国の寺院に対して戦勝祈願を課していましたが、家康の領国となった上野国においても例外ではなかったようです。また、取次ぎを担った「全阿弥(ぜんあみ)」は本名を内田正次といい、家康の初期の宗教行政において重要な役割を果たした人物です。

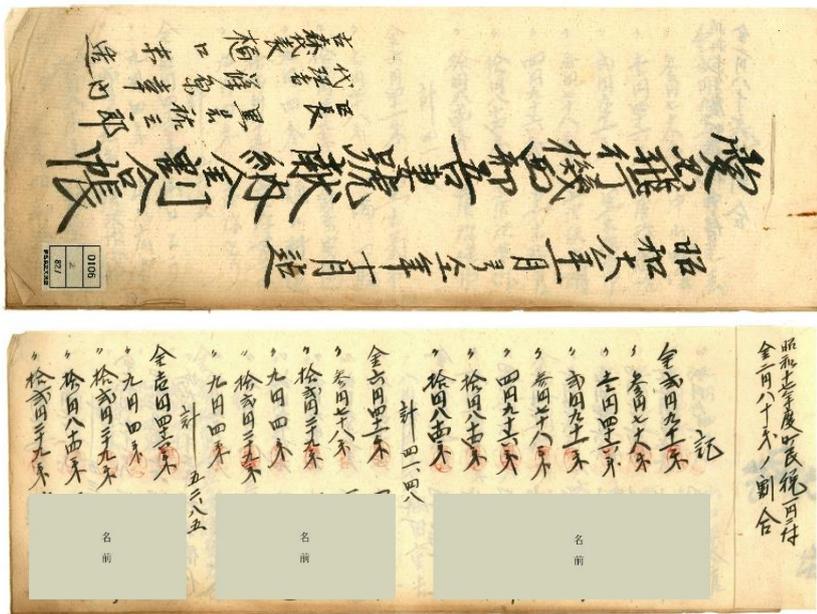
「史料が伝える戦時下のぐんま—戦争が変えた日常—」の開催



令和6年(2024)1月13日(土)から5月30日(木)までの開催を予定しています(好評につき延長しました)。インターネット展示も実施中です。

主に満州事変から太平洋戦争(昭和6年~20年)における本県の戦時下の人々の暮らしに関する史料50点を展示しました。県内で、戦争により働き手が減り、食料も物資も不足する中で、金属や飼っている動物の提供を求められ、また、爆撃にさらされるなど、次第に戦争前と同じ生活はできなくなった様子を「—戦争が変えた日常—」という副題で紹介しました。

展示史料紹介



戦時中、民間からの献金により軍に飛行機を納める運動が全国で行われていました。この資料は、長野原町羽根尾区で1,141円43銭を集めて「愛国飛行機西部吾妻号」の調達費を献納したことを記した領収書と献納金割合帳です。

1戸につき1円の献金に加えて町民税1円につき2円80銭の割合で献金しており、税負担とともに献金も重い負担であったことがわかります。

史料名展示No.11『領収書(愛国飛行機西部吾妻号献納資割当寄附金)』 昭和18年(1943年) P0106

実際に戦争を体験した人々が少なくなっていく中で、その記録を未来に引継ぐことは、当館の重要な役割です。展示内容の一部は当館ホームページの下記アドレスに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

<https://www.pref.gunma.jp/site/monjyokan/628795.html>

学校連携の取り組み

令和5年度の学校連携では、教員向け研修、職場体験学習、高校生への学習支援、高等学校への出張による講義を実施しました。

1 教員向け研修講座の実施（歴史資（史）料の活用を考える）

総合教育センター令和5年度研修講座「社会科・地歴公民科研修講座」を9月12日(火)に開催しました。この講座を当館で行うのは3回目です。高等学校の地理歴史科・公民科を担当する教員の初任者研修を兼ねており、受講希望の教員と一緒に参加しました。今回の参加者は11名でしたが、昨年に続けて参加された方もいました。

講座は、歴史資料の学習指導要領の位置付けや郷土の歴史資料を教材化することの意義などについての講義「研修1 文書館の概要や郷土の歴史資料についての解説」と、当館で作成した教材化史料（文書館のウェブサイトで公開中）の中から、授業で教材化できそうな「実物の史料」を準備し、参加者に教材化を考えてもらう「研修2 郷土の史料の効果的な活用を考えよう(演習)」の2部構成で実施しました。

今年度は、資料活用の幅を広げてもらうことを前提に、日本史に限定せず、活用する教科・科目についても参加者に設定してもらうようにしました。参加者は興味をひかれた史料を吟味し、時折職員の説明を聞きながら、史料の持つ価値や内容の深さに気づくことができました。それぞれ、授業に生かすアイデアを考え、グループ内で発表し、共有しました。科目を絞らなかったことから、地理や公民科で活用するアイデアの発表もありました。資料活用の幅が広がったことが成果です。一方で、日本史の授業で歴史資料として正面から活用するアイデアも広がってほしいという反省もあります。参加した先生方が、今後も歴史資料を生かした授業づくりに挑戦し、文書館にある本物の史料を授業で活用してくれることを期待しています。



注) ここでは、次のような使い分けをしています。

「資料」…何かをするときに役立たせるための材料

「史料」…歴史上の史実に基づいた記録や書類

2 職場体験学習（中学校・高等学校への協力）

今年度は、前橋市立木瀬中学校と群馬県立高崎北高等学校の職場体験学習（インターシップ）に協力をしました。木瀬中学校は新型コロナへの対応のためしばらく実施していませんでしたので、令和元年度以来となりました。2年生の生徒4名が3日間、体験しました。高崎北高校は昨年度に続いて2回目の実施でした。1年生の生徒2名が2日間、体験しました。どちらも文書館での仕事体験を通して、働くことの意義や仕事に向かう姿勢を学ぶことを目的としていたので、それに見合う体験を考えて実施しました。細かい部分は違いますが、次のような仕事体験をしました。

(1) オリエンテーション

初日に、文書館が果たしている役割と仕事内容を知ってもらうために、文書館についての講義を行いました。文書館は歴史的な文書を収集・保存し、広く県民に利用してもらうことを目的としていることや、そのために公文書係・古文書係の二つの係が県庁で作成された歴史的な公文書や群馬県内で収集された古文書を保存・整理・公開するための作業をしていることを説明しました。

(2) 古文書係

こよりづくりを体験したり古文書の整理の仕方について職員から説明を受けたりしました。職場体験の時に、古文書係が担当した展示期間でしたので、展示の内容について説明を聞くとともに、展示パネルの作り方や展示をする際に気を付けたことなどを教わりました。また、高崎北高校の生徒は、古文書係の業務の一つである「ぐんま史料講座」の前日でしたので、講座の準備を手伝いました。



(3) 公文書係

絵図や簿冊の状態調査を体験しました。絵図は明治時代に作られたもので、一辺が2m以上ある大きなものです。それを広げて、寸法を測るとともに、絵図の中にあるシミやしわの状態について、職員から教わりながら記録をしていきました。簿冊は寸法を測った後、ページをめくりながらシミやしわなどの状態について調べました。ほかにも、状態調査の記録をデータ入力する体験や書庫で簿冊を配架する体験をしました。



(4) 閲覧

利用券の作り方や目録検索の仕方について説明を聞いた後、自分で目録を検索して出納を行いました。書庫に行って、利用請求にある公文書や古文書を探して用意し、それを閲覧し、その後元の場所に戻すところまで体験しました。出納する文書はどれも貴重なので、運搬の仕方やし入れする時にも細かい配慮があることを学びました。

(5) I P M

文書を永年保存するためには温湿度の管理や害虫から文書を守ることが大切で、文書館でしている対策について説明を聞きました。そのあと、書庫にある温湿度計で調べた温湿度を記録することや、館内に設置してある害虫調査のためのトラップを回収して捕獲した害虫について調べる体験をしました。

以上の体験を通して、文書館の仕事について学んでもらうだけでなく、職場体験をしながら若い学生に、古文書や特定歴史公文書等を保存し利用してもらうことの意義を伝えることで、貴重な歴史史料をより活用してもらうきっかけにしてもらうとともに、文書館の認知度が広がっていくことを期待して、今後も職場体験学習に協力をしていきたいと思えます。

3 展示見学（群馬県立前橋清陵高等学校）

12月21日（木）、群馬県立前橋清陵高等学校昼間部の生徒 25 名に展示見学のため来館していただきました。令和 4 年施行の新学習指導要領で創設された新科目「歴史総合」の重要な単元である「歴史の特質と資料」の学習の一環として当館を利用していただきました。

見学当日は、令和 5 年の大河ドラマでも取り上げられた徳川家康と群馬の関わりをテーマにした展示を見学していただき、展示史料の特徴や文書館の役割、歴史資料を未来に伝えていくことの大切さを説明させていただきました。展示見学後、展示史料の原本に触れていただいた際には、会場からどよめきが起こるなど、多くの生徒さんに文書館の史料に関心を持っていただくことができました。



4 出張授業（群馬県立高崎商業高等学校）

令和6年2月5日（月）、群馬県立高崎商業高等学校3年生（277名）を対象に、出張授業「商業都市高崎市の発展を歴史から探る」を実施しました。当日は降雪の影響で会場の体育館は冷え切っていましたが、そのような寒さをものともせず、生徒さんには非常に熱心に取り組んでいただきました。商業高校での授業ということで、商業と高崎の繋がりについて、城下町高崎と商業、宿場町高崎や倉賀野河岸と商業、陸軍歩兵15連隊と商業、高崎駅と商業の四つのテーマで文書館収蔵資料を用いて説明したほか、古地図を使ったグループワークにも取り組んでいただきました。

今回の学校連携事業は、高等学校での「出張授業」という初めての企画でしたが、学校側担当者と文書館が打ち合わせを密にし、双方での準備を入念に行ったことで非常に内容の濃いものとなりました。今後は、今回のケースをモデルに県内高等学校へのアナウンスを積極的に行うことで、高等学校との連携事業を増やしていきたいと思っております。

ぐんま史料講座開催報告

10月29日（日）、大正大学文学部歴史学科准教授の中川仁喜先生を講師にお迎えして今年度の「ぐんま史料講座」を開催しました。今年度の講座は、『長楽寺文書』などの近世寺院史料をテキストとし、「古文書から見る天海僧正～上野国を中心に～」と題して行われました。

令和 5 年度テーマ展示 1「家康の関東入国と上野国～文書館収蔵中近世文書の世界～」に関連したものです。

近世初期の天台宗僧侶である天海は、徳川家康・秀忠・家光の三代の将軍に仕え、江戸幕府の宗教政策に大きな影響を与えた人物です。また、天海は上野国においても善昌寺（桐生市新里町）をはじめ多くの寺院と関係を持った僧侶でした。特に長楽寺（太田市世良田町）は寛永年間に晩年の天海が禅宗寺院であったものを純天台寺院としたことで知られています。今回の講座では、近世天台宗史と天海の研究に取り組んでこられた中川先生ならではの切り口で、上野国と天海の知られざる関係について、古文書を読み解きながらお話ししていただきました。



古文書講座開催報告

1 古文書入門講座

令和5年度の古文書入門講座は、6～7月の全4回で開催しました。

この数年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、古文書講座でも中止や定員縮小等といった制限を行っていました。しかし、参加の受付開始直前となる5月に当該感染症の法的位置づけが第5類に移行したことに伴い、定員数を拡大したことで受講者44名での実施となっています。

講座では古文書の書体・文体や学習のやり方といった基本から始まり、平易な古文書テキストを実際に読解しながら、段階を追って古文書解読の基礎についての講義がされました。受講者の方からのアンケートには「分かりやすく面白かった」「時代背景等の解説もあり興味深かった」「今後も学習を続けていきたい」といった回答が寄せられ、概ね高評価をいただくことができました。

	開催日	テーマ	講師
1回	6月10日(土)	「くずし字」の基礎を学ぶ1 数字、元号干支に親しむ	須藤 聡 (文書館職員)
2回	6月17日(土)	「くずし字」の基礎を学ぶ2 人名、仮名、地名に親しむ	
3回	6月24日(土)	「村方文書」に親しむ1 検地帳・宗門人別帳・年貢割付状等	
4回	7月1日(土)	「村方文書」に親しむ2 送り証文、引取り証文、関所通り証文等	

2 長期古文書講座

令和5年度の長期古文書講座は、当館の古文書講座を受講したことのある方をはじめ、既に古文書解読の経験がある方を対象に実施しました。内容は中近世から近代の時代ごとにテーマに沿った複数の古文書を扱う前半、近世の冊物類から1点を中心に据えて読み進めていく後半の2部構成としており、いずれか一方、もしくは合わせての受講が可能となっています。

講師は当館職員のほか、前半の近世文書編と近代文書編では巻島先生・丑木先生の両名をお招きし、豊富な知見と様々な史料に基づいて講義をしていただきました。入門講座と比べて高度な内容となりますが、受講者からのアンケートはこちらも概ね高評価となっています。

前半	開催日	テーマ	講師
1回	9月9日(土)	中近世文書概論・中近世文書読解演習 徳川家康と新田一族-「長楽寺文書」を読む-	須藤 聡 (文書館職員)
2回	9月16日(土)		
3回	10月7日(土)	近世文書概論・近世文書読解演習 上野国の鷹場(鷹狩)関係文書を読む	巻島 隆 先生 (群馬大学非常勤講師)
4回	10月14日(土)		
5回	10月21日(土)		
6回	11月4日(土)	近代文書概論・近代文書読解演習 徳川郷から三河へ/鉄道開通150年	丑木幸男 先生 (国文学研究資料館名誉教授)
7回	11月11日(土)		

後半	開催日	テーマ	講師
8回	11月18日(土)	近世文書特論 天明三年浅間山大噴火～「浅間山焼記」	関口荘右 (文書館職員)
9回	11月25日(土)		
10回	11月4日(土)		

入門・長期講座ともに、講義で使われた古文書はすべて文書館収蔵のものとなっており(一部複製資料での閲覧)、これまでのテキストの販売もしております。



新たに収集した古文書・新たに閲覧公開した古文書

●新たに収集した古文書

No.	伝存地・文書群名等	内容等	点数
1	東京都 羽鳥英昭家文書(寄託)	幕末に前橋藩勸農掛附属であった羽鳥幸五郎による「勸農方記録」、明治維新後に群馬県議会議員を務めた同氏やその子孫宛ての明治期から昭和期の書簡など。	約46点
2	前橋市三俣町 永島勇家文書(寄贈)	前橋藩(松平家)の武士であった永島外内家に伝来した幕末期から昭和期に至る文書群。	約340点
3	前橋市下川町 井野修二氏収集文書(寄贈)	井野修二氏が収集した群馬県に関する明治から昭和期の近代文書及び井野修二氏の義父が残した警察関係史料など。	約60点
4	前橋市国領町 酒井宏家文書(寄贈)	元群馬大学事務長酒井宏氏の家に伝来した明治期から昭和期に至る文書群。	約375点
5	藤岡市藤岡 高津仲次郎関係文書(追加寄託)	江戸時代後期の土地借用証文などの近世文書と、明治から大正期に活躍した政治家である高津仲次郎に宛てられた書簡や鉄道関係史料などの近代文書。	約170点
6	吾妻郡高山村中山 平形作太郎家文書(追加寄託)	明治30年代に中山村三等郵便局で収受された郵便業務に関連する文書。	14点
7	前橋市亀里町 井田和子家文書(寄贈)	前橋市亀里町の井田和子家に伝来した江戸期から昭和期に至る文書群。	105点
8	前橋市朝日町 多加谷敏則家文書(追加寄贈)	近世の刊本、名所図、近代文書、戦争関係史料、近代刊本など。	108点

●新たに閲覧公開した古文書

No.	伝存地等・文書群名	内容・点数(請求番号)
1	北群馬郡榛東村新井 蜂巢昇二家文書	近世～近代の版本や、明治期の小学校関係資料・大山祇神社関係の文書・桃井村関係の納税領収書類といった近代文書からなります。 584点(P00102)
2	碓氷郡松井田町五料(現・安中市) 中島徳造家文書	中山道の茶屋本陣(お東)の家の近世・近現代文書群。今回の公開分は近世の宗教関連文書や近現代のはがき・書簡等。5～8月に臨時展示を行ったタイタニック号に関する書簡も含まれます。 5239点(P8909)
3	前橋市小坂子町 糸井正喜家文書	小坂子村の名主・村会議員を務めた糸井家に伝来した文書群。金銭請取に関する文書を多く含む近世文書と、役場からの通知・依頼や各種税金の領収書といった近現代文書からなります。 225点(P9514)
4	前橋市総社町 前橋市総社町山王自治会文書	明治期～戦後直後までの昌楽寺廻り世話人・同青年会、昭和20年代後半からの山王青年会、昭和50年代以降の山王自治会、それぞれの資料が中心です。 129点(P9804)
5	岩内欽司氏収集文書	陸奥国伊達郡小坂村、飛騨国吉城郡小鷹利郷打保村など様々な地域の近世文書と、高崎市嘉多町在住の竹澤国太郎氏関連が中心の近現代文書。 263点(P09806)
6	勢多郡富士見村時沢(現・前橋市) 富士見村時沢区有文書	赤城山南西の裾野部に位置する富士見村時沢地区で保管されていた文書群。江戸～昭和期の土地や戸籍、山林利用や不動尊についての資料等で構成されます。 1536点(P0108)
7	利根郡利根村 浅野節子家文書	明治期の小学校の証書・賞状類が中心となっている文書群。卒業・修了証書、級長の任命書や成績優秀の賞状のほか、片品村戸倉の野取図など。 22点(P09703)
8	埼玉県越谷市 岡田榮生家文書	明治・大正期に群馬県で教員を務めた岡田啓蔵氏の職務に関する文書が中心です。図画教員であった同氏が描いた群馬県師範学校全図等も。 97点(P09906)
9	高崎市(旧・多野郡吉井町) 旧多胡村役場文書	旧多胡村役場文書のうち、勸業・農業・養蚕関係の史料を撮影したものです。明治～昭和期の各種産業についての史料が中心になっています。 309点(PF9208)
10	桐生市 桐生市本町四丁目吉田家文書	本町四丁目で鉄物店を営み、明治期には町村会議員等も務めていた桐生市本町の吉田允俊家に伝存した文書群。宮崎有敬関連の書簡等も。 2429点(PF9804)

※No.9～10は複製本による閲覧となります(請求番号がPFはマイクロフィルム収集文書)。

県から新たに移管された歴史公文書

移 管 令和5年度の文書整理において県庁各所属が廃棄した文書資料の中から、文書館に移管された歴史公文書は781冊でした。(詳細は次表のとおり。)うち保存期間を満了し管理委任が解除となった文書から移管されたものは555冊でした。

管理受任 令和5年度に管理委任により県の各機関から受け入れた文書は、575冊でした。

令和5年度移管文書の部局別冊数

部局名	冊数	部局名	冊数
知事戦略部	28	企業局	21
総務部	57	議会事務局	10
地域創生部	198	監査委員事務局	1
生活こども部	34	収用委員会	8
健康福祉部	47	内水面漁場管理委員会	1
環境森林部	137	教育委員会事務局	9
農政部	76	公立大学法人	2
産業経済部	80	合 計	781
県土整備部	72		

(参考) 令和4年度の状況
 ・移管 826冊
 ・管理受任 530冊

レファレンス事例紹介

事例 1

<質問>

前橋都市計画図上の工場名(現在の群馬大学荒牧キャンパス付近)を確認したいので参考となる資料を教えてください。

<回答>

『都市計画(群馬地方委員会)』(A0181A0S 368-1)の添付資料の前橋都市計画図の該当箇所に「上州社」の記載があります。参考にしていただければと思います。

事例 2

<質問>

インターネット古文書講座のNo.188「高崎藩領村々凶作につき年貢減免の歎願書」にある文字の崩し方について、古文書中に「俵」の略字が出てきますが、どの様に略字になっていたのか教えてください。

<回答>

「俵」の字ですが、この場合はかなり崩したものになります。『音訓引き古文書字典』(柏書房)のP552に掲載されている「俵」の崩しを参考にしていただければと思います。東京堂出版の『くずし字用例辞典』の「俵」の項目には本文書の「俵」に近い崩し方は掲載されておりませんでした。強いて言えば最後の用例が近いように思えます。複数の辞典を参照すると崩し方がわかる場合がありますので、参考にしていただければと思います。

事例 3

〈質問〉

記録管理学を専攻している韓国の大学院生です。貴館では、小学生にさまざまな教育や教材を提供していると聞いています。そこで気になる点について質問させていただきます。

- 1 学習指導要領が、改正されればこれを業務に直ちに反映させているでしょうか。
- 2 小学校に直接出向いて授業などを行っているでしょうか。
- 3 令和5年度に小学生に提供したプログラム名、対象(小学校学年)、テーマ、利用資料、活動類型、関連教科、参加人数、実施回数の順に内容を教えていただけますでしょうか。

〈回答〉

1 について

プログラムの内容が学習指導要領の改正された部分に合っていないければ、修正をします。

2 について

職員の人数が少ないので、積極的に出張して授業を行うということはありませんが、利用をしたいという申し出があれば出張もします。ただし、今のところ小学校からの出張についての利用の申込はありません。

3 について

- ・プログラム名：市のように人と人々のくらしのうつりかわり
- ・対象・参加人数：小学校第3学年3クラス（計80名）（一度での体験は無理なので、クラスごと（約27名）に来館してもらい、同じ内容で3回実施した）
- ・教科：社会科
- ・テーマ：わたしたちの住んでいる地域や前橋市の昔の様子を知ろう
- ・利用資料（すべて複製品）：
 - 写真パネル（昔の県庁、1955年～1970頃の町の様子が分かる写真、戦災（1945年））
 - 写真週報（1943年の雑誌）
 - すごろく（1940年代）
 - パネル（江戸時代 1732年と1859年に描かれた地域の絵図）
 - 明治時代（1880年頃）の教科書
 - 大型絵図マット（江戸時代の上野国（今の群馬県）を描いたもの）
- ・活動類型：個人（資料を見るとき）／ グループ（大型絵図マットの体験）

以上となります。参考として、令和5年の実施ではありませんが、文書館のウェブサイトにも過去の事例が掲載されておりますので参考にいただければと思います。

閲覧室からのお知らせ

1 新型コロナウイルス対策の廃止

令和2年4月に1か月実施した臨時休館や、それ以降の閲覧室利用制限など、これまで継続してきた新型コロナウイルス対策ですが、令和5年5月8日に感染法上の5類への移行がなされ、併せて群馬県対策本部も廃止されたことから、当館での感染対策の体制も以下のとおり改めています。

(1) 検温と体調チェックの廃止

来館者の検温と体調チェックを廃止しました。ただし、感染症対策についても一定の配慮を行う必要があると考えられることから、「マスク着用」の推奨は継続しています。

(2) 総合窓口での受付の廃止

検温と体調チェックを廃止したことから、総合受付での受付を廃止し、閲覧室で直接来館者の受付を行います。

(3) 人数制限の変更

感染症対策についても一定の配慮を行うため、来館者の人数制限は1組2名（4組まで）から、1組4名（4組まで）に緩和した上で継続しています。

(4) 関係書類の廃止

来館者へ配布していた「群馬県立文書館利用時の留意事項」は廃止し、留意事項を記載したポスター掲示も廃止しました。

2 閲覧室の書架入替え

令和6年2月5日(月)に閲覧室の書架入替えを行い、従来のスチール製書架から群馬県産ヒノキ製の書架が新たに整備されました。新しい書架の高さは元の書架よりも低い(120cm)ため、閲覧室全体の見通しが改善され、群馬県産ヒノキの温かい色味と合わせ、室内の雰囲気明るくなりました。

重い書籍を収納している書架が低くなるため、地震等の災害時にも被害が軽減されることとなります。

書架入替えに伴い、従来閲覧室に配架されていた書籍の一部は書庫に移動され、目録の設置場所等も変更になりました。書庫に移動された資料の利用には、他の書庫内資料と同じく閲覧申請が必要となります。閲覧室に配架された資料はこれまで通りのご利用が可能です。見つからない場合は職員にお声がけください。



今後の行事予定

展示

- ・テーマ展示1「史料で見る上州の冠婚葬祭（仮）」
8月1日（木）～11月24日（日）（予定）
- ・テーマ展示2（予定）

講座

古文書入門講座（6月～7月予定）土曜日 午前10時～12時
 長期古文書講座（9～12月予定 全10回）土曜日 午前10時～12時
 群馬県民の日記念・文書館会館記念日行事（ぐんま史料講座）10月26日（土）

令和6年度開館カレンダー

4月							5月							6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30					26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				

8月							9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5					1	2	
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

12月							1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1							1
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
29	30	31					26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	23	24	25	26	27	28	29		
														30	31						30	31					

■ 休館日 ■ レファレンス（古文書の解読等の相談）



交通のご案内

- ◆ JR 両毛線 前橋駅から徒歩 25 分、バス 15 分

群馬県立文書館だより第68号
 令和6年3月31日発行
 編集・発行 群馬県立文書館
 〒371-0801
 群馬県前橋市文京町3丁目27-26
 電話 027-221-2346
 題字／岡庭征人書